

■ ステップ2：認証用レコードを登録する

次に、ドメインサービスのDNS管理画面でドメイン認証用レコードを登録します。



1 ドメインの確認画面を表示した状態で、ブラウザの新しいウィンドウを開きます。

ドメイン/Webサービス会員サイトのトップページにアクセスし、「ログイン」をクリックします。
<http://dw.alpha-prm.jp/>

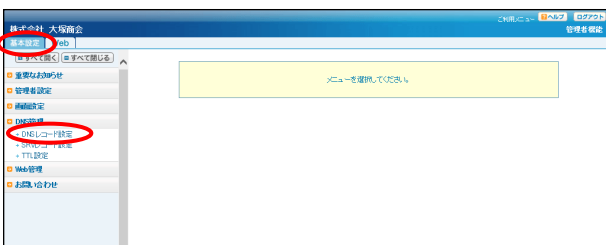


2 必要事項を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

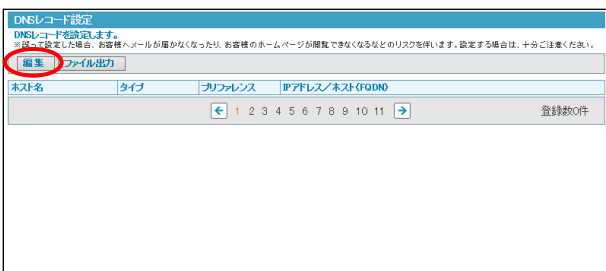
メールアドレス(ID)	管理者メールアドレス(ログインID)を入力します
パスワード	管理者パスワードを入力します



3 「管理者機能」をクリックします。



4 「基本設定」タブが選択されていることを確認し、「DNS管理」→「DNSレコード設定」の順にクリックします。



5 「編集」ボタンをクリックします。

DNSレコード設定

DNSレコード名編集します。
※レコードを削除する場合は、削除チェックボックスにチェックを入れてください。
※DNSレコードを入力する場合は、必ず各欄の欄頭に「:」を必ず入力してください。
※DNSレコード設定に関する注意事項は、[こちら](#)

入力後、「次へ」ボタンをクリックしてください。設定確認画面が表示されます。

次へ

削除	ホスト名	タイプ	プリファレンス	IPアドレス/ホスト(FQDN)
<input type="checkbox"/>		TXT		MS=ms91042202
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

6 必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

削除	選択しません
ホスト名	何も入力しません
タイプ	「TXT」を選択します
プリファレンス	選択しません
IPアドレス/ホスト(FQDN)	「ステップ1:ドメインを追加する」手順5 (P.3)の画面で表示された「TXT値」を入力します

設定確認

設定情報を確認します。
設定内容を確認後、必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

設定

設定情報

```
$ORIGIN .
$TTL 18000
aweb-dv.jp
    TXT      "MS=ms91042202"
```

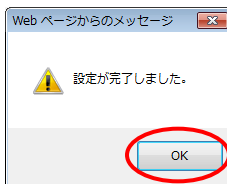
設定前情報

・「戻る」ボタンをクリックした場合、編集画面に戻ります。

戻る

7 表示された内容を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

設定情報	新しく設定する内容が表示されます
設定前情報	現在の設定内容が表示されます



8 「OK」ボタンをクリックします。

株式会社 大塚商会

Web

DNSレコード設定

DNSレコード名編集します。
※レコードを削除する場合は、削除チェックボックスにチェックを入れてください。
※DNSレコードを入力する場合は、必ず各欄の欄頭に「:」を必ず入力してください。
※DNSレコード設定に関する注意事項は、[こちら](#)

編集 プリファレンス

削除	ホスト名	タイプ	プリファレンス	IPアドレス/ホスト(FQDN)
<input type="checkbox"/>	(GUL)	TXT		MS=ms91042202

登録数: 1件

9 「TTL設定」をクリックします。

TTL設定

ホストごとのTTL値を設定します。
※TTL設定において、各ホストで時間を選択し設定します。

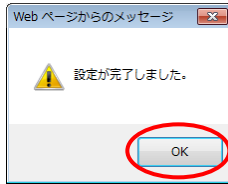
設定完了後、必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

設定

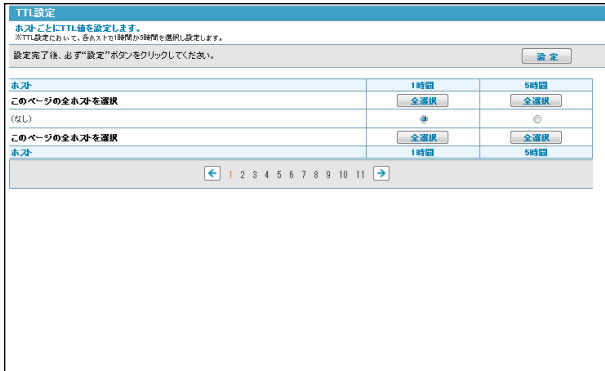
ホスト	時間	時間
このページの全ホストを選択 (なし)	全選択	全選択
このページの全ホストを選択 ホスト	全選択	全選択

登録数: 1件

10 手順6で追加したホストで「1時間」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。



11 「OK」 ボタンをクリックします。



12 TTL設定の画面が表示されます。

以上で、ステップ2の作業は終了です。
画面は閉じずに、ステップ3に進みます。

! 画面は閉じないでください

画面は、以降の設定で必要になります。
画面を閉じないよう、ご注意ください。

ステップ3：レコードを発行する

続いて、たよれーる Office 365画面でサービスのご利用に必要なレコードを発行します。



1 ステップ1の手順5 (P.3)で残した画面に戻り、「確認」をクリックします。



2 「自分で独自のDNSレコードを管理する」を選択し、「次へ」をクリックします。

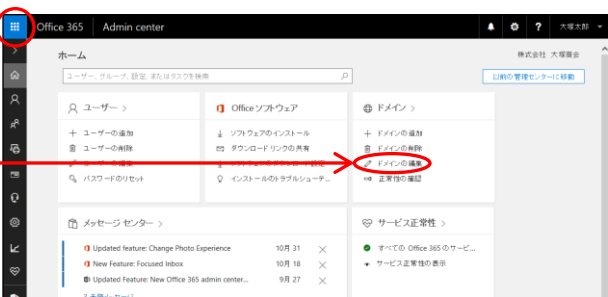


3 DNS設定の更新画面が表示されます。

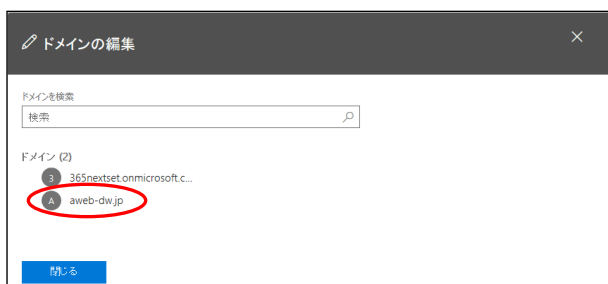
画面最下部の「この手順をスキップする」をチェックし、「スキップ」をクリックします。



4 「完了」をクリックします。



5 「ホーム」 → 「ドメインの編集」をクリックします。



6 ドメインサービスのご契約ドメイン名をクリックします。



7 DNSレコード画面が表示されます。

以上で、ステップ3の作業は終了です。
画面は閉じずに、ステップ4に進みます。

❗ 画面は閉じないでください

画面に表示されたサービスのレコード情報は、次の設定で必要になります。画面を閉じないよう、ご注意ください。

❗ ご契約内容によって表示されるレコード情報が異なります。

ステップ4：レコードを登録する

続いて、ドメインサービスのDNS管理画面でサービスのご利用に必要なレコードを登録します。



1 「ステップ2：認証用レコードを登録する」手順12 (P.6) で残したTTL設定画面に戻り、「DNSレコード設定」をクリックします。



2 「編集」ボタンをクリックします。

3 「ステップ2：認証用レコードを登録する」手順6 (P.5) で追加したレコードの「削除」を選択します。

DNSレコード設定

DNSレコードを編集します。
 ※レコードを削除する場合は、削除チェックボックスにチェックを入れてください。
 ※ホスト名(FQDN)を入力する場合は、ホスト名の最後は「。」(半角ピリオド)を入力してください。
 ※DNSレコード設定に関する制限事項は、[こちら](#)。

入力後、「次へ」ボタンをクリックしてください。設定確認画面が表示されます。

削除	ホスト名	タイプ	プリファレンス	IPアドレス/ホスト(FQDN)
<input checked="" type="checkbox"/>		TXT	0	MS=ms91042202
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

4 必要事項を入力します。

! ここでは、ステップ3の手順7(P.8)の画面で表示されたレコード情報(MX、CNAME、TXT)を登録します。

DNSレコード設定

DNSレコードを編集します。
 ※レコードを削除する場合は、削除チェックボックスにチェックを入れてください。
 ※ホスト名(FQDN)を入力する場合は、ホスト名の最後は「。」(半角ピリオド)を入力してください。
 ※DNSレコード設定に関する制限事項は、[こちら](#)。

入力後、「次へ」ボタンをクリックしてください。設定確認画面が表示されます。

削除	ホスト名	タイプ	プリファレンス	IPアドレス/ホスト(FQDN)
<input checked="" type="checkbox"/>		TXT	0	MS=ms91042202
<input type="checkbox"/>	autodiscover	MX	0	ty-p01b@mail.protection.outlook.com
<input type="checkbox"/>	autodiscover	CNAME		autodiscover.outlook.com
<input type="checkbox"/>	slp	CNAME		slpdir.online.lync.com
<input type="checkbox"/>	lyncdiscover	CNAME		webdir.online.lync.com
<input type="checkbox"/>	enterpriseRegistration	CNAME		enterpriseRegistration.windows.net
<input type="checkbox"/>	enterpriserollment	CNAME		enterpriserollment.manage.micros
<input type="checkbox"/>	msoid	CNAME		clientoonline.microsoftonline-p.net
<input type="checkbox"/>		TXT		v=spf1 include:spf.protection.outlook
<input type="checkbox"/>				

■ 1：種類「MXレコード」

削除	選択しません
ホスト名	何も入力しません
タイプ	「MX」を選択します
プリファレンス	「0」を選択します
IPアドレス/ホスト(FQDN)	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示されたMXの「ポイント先のアドレスまたは値」を入力し、末尾に「。」(半角ピリオド)を入力します

■ 2：種類「CNAMEレコード」

※画面に表示された全てのCNAMEレコードを登録します

削除	選択しません
ホスト名	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示されたCNAMEの「ホスト名」を入力します
タイプ	「CNAME」を選択します
プリファレンス	選択しません
IPアドレス/ホスト(FQDN)	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示されたCNAMEの「ポイント先のアドレスまたは値」を入力し、末尾に「。」(半角ピリオド)を入力します

■ 3：種類「TXTレコード」

削除	選択しません
ホスト名	何も入力しません
タイプ	「TXT」を選択します
プリファレンス	選択しません
IPアドレス/ホスト(FQDN)	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示されたTXTの「TXT値」を入力します

設定情報確認。必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

設定情報

```

ORIGIN .
STTL 3600
web-dv.jp
MX 0 web-dv-jp01b.mail.protection.outlook.com.
TXT "vsfp1 include:spf.protection.outlook.com -all"

ORIGIN web-dv.jp.
STTL 18000
autodiscover CNAME autodiscover.outlook.com.
enterpriseenrollment CNAME enterpriseenrollment.manage.microsoft.com.
enterpriseregistration CNAME enterpriseregistration.windows.net.
lyncdiscover CNAME webdir.online.lync.com.
msoid CNAME clientconfig.microsoftonline-p.net.
sip CNAME sipdir.online.lync.com.

```

設定前情報

```

ORIGIN .
STTL 3600
web-dv.jp
TXT "MS=ms91042202"

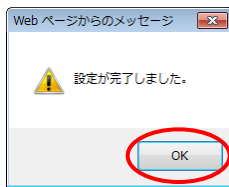
```

・「戻る」ボタンをクリックした場合、編集画面に戻ります。

戻る

5 表示された内容を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

設定情報	新しく設定する内容が表示されます
設定前情報	現在の設定内容が表示されます



6 「OK」ボタンをクリックします。

以下の手順7～11は、Skype for Businessをご契約されたお客様のみが実施する作業です。
Skype for Businessをご契約されていないお客様は作業いただく必要がありません。手順12に進んでください。

SRVレコード設定

SRVレコードを設定します。
※Lync Onlineなどの利用に必要なレコードを設定する手順です。
※設定内容は十分に確認してください。誤って設定されるとサービスがご利用できなくなります。

編集

ホスト名	タイプ	プロパリティ	IPアドレス/ホスト名 (FQDN)
(空)	MX	0	web-dv-jp01b.mail.protection.outlook.com.
(空)	TXT		vsfp1 include:spf.protection.outlook.com -all
autodiscover	CNAME		autodiscover.outlook.com.
enterpriseenrollment	CNAME		enterpriseenrollment.manage.microsoft.com.
enterpriseregistration	CNAME		enterpriseregistration.windows.net.
lyncdiscover	CNAME		webdir.online.lync.com.
msoid	CNAME		clientconfig.microsoftonline-p.net.
sip	CNAME		sipdir.online.lync.com.

登録数: 11件

7 「SRVレコード設定」をクリックします。

SRVレコード設定

SRVレコードを設定します。
※Lync Onlineなどの利用に必要なレコードを設定する手順です。
※設定内容は十分に確認してください。誤って設定されるとサービスがご利用できなくなります。

編集

サービス	プロパリティ	ホスト名	優先度	重み	ポート	ターゲット (FQDN)
------	--------	------	-----	----	-----	--------------

登録数: 11件

8 「編集」ボタンをクリックします。

9 必要事項を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。

SRVレコード設定

SRVレコード名編集します。
※レコードを削除する場合は、削除チェックボックスにチェックを入れてください。
※サービス名(FQDN)を入力する場合は、必ずその欄に「.」(半角ピリオド)を入力してください。
※SRVレコード設定に関する詳細事項は、[こちら](#)

入力後、「次へ」ボタンをクリックしてください。設定確認画面が表示されます。

次へ

削除	サービス	プロトコル	ホスト名	優先度	重み	ポート	ターゲット(FQDN)
<input type="checkbox"/>	_sip	_tls		100	1	443	sipdir.online.lync.com
<input type="checkbox"/>	_sipfederations	_tcp		100	1	5061	sipfed.online.lync.com
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

! ここでは、ステップ3の手順7(P.8)の画面で表示されたレコード情報(SRV)を登録します。

■種類「SRVレコード」(上から一行目)

削除	選択しません。
サービス	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「サービス」を入力します
プロトコル	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「プロトコル」を入力します
ホスト名	何も入力しません
優先度	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「優先度」を入力します
重み	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「重み」を入力します
ポート	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「ポート」を入力します
ターゲット(FQDN)	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「ターゲット」を入力し、末尾に「.」(半角ピリオド)を入力します

Exchange Online

種類	優先度	ホスト名	ポイント先のアドレスまたは値	TTL
MX	-	@	msbdw-gp03a.aal.protection.outlook.com	1時間
TXT	-	@	vs-gfl.include.protection.outlook.com-all	1時間
CNAME	-	autodiscover	autodiscover.outlook.com	1時間

Skype for Business

種類	優先度	ホスト名	ポイント先のアドレスまたは値	TTL
CNAME	-	_sip	sipdir.online.lync.com	1時間
CNAME	-	_sipdiscover	wedir.online.lync.com	1時間

種類	サービス	プロトコル	ポート	優先度	重み	TTL	名前	ターゲット
SRV	_sip	_tls	443	1	100	1時間	◎	sipdir.online.lync.com
SRV	_sipfederations	_tcp	5061	1	100	1時間	◎	sipfed.online.lync.com

Mobile Device Management for Office 365

種類	優先度	ホスト名	ポイント先のアドレスまたは値	TTL
CNAME	-	enterpriseregistration	enterpriseregistration.windows.net	1時間
CNAME	-	enterpriseenrollment	enterpriseenrollment.manage.microsoft.com	1時間

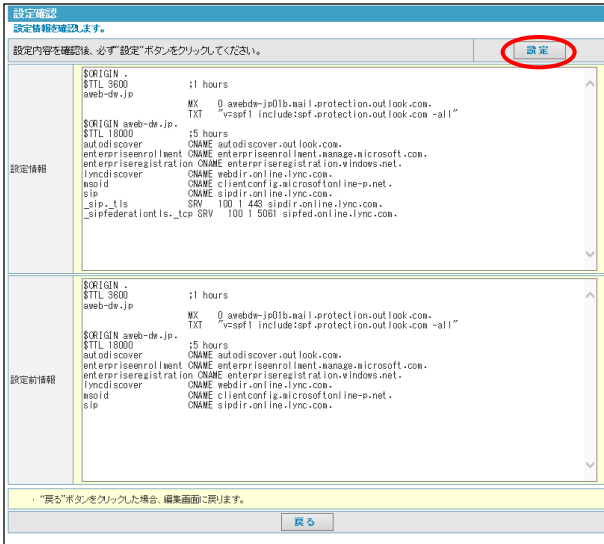
追加の Office 365 レコード

種類	優先度	ホスト名	ポイント先のアドレスまたは値	TTL
CNAME	-	msoid	clientconfig.microsoftonline-p.net	1時間

(例)たよれーる Office 365画面

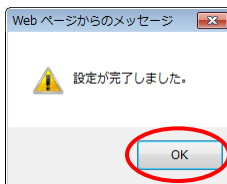
■種類「SRVレコード」(上から二行目)

削除	選択しません。
サービス	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「サービス」を入力します
プロトコル	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「プロトコル」を入力します
ホスト名	何も入力しません
優先度	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「優先度」を入力します
重み	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「重み」を入力します
ポート	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「ポート」を入力します
ターゲット(FQDN)	「ステップ3:レコードを発行する」手順7(P.8)の画面で表示された「ターゲット」を入力し、末尾に「.」(半角ピリオド)を入力します



10 表示された内容を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

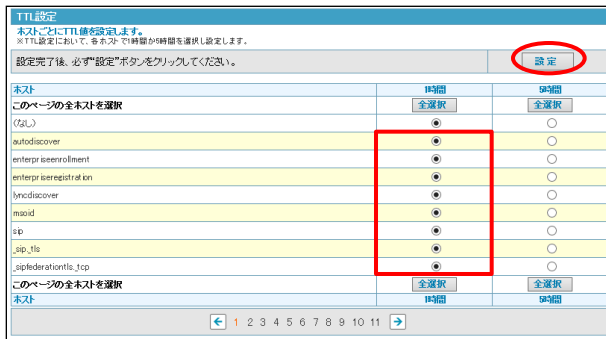
設定情報	新しく設定する内容が表示されます
設定前情報	現在の設定内容が表示されます



11 「OK」ボタンをクリックします。



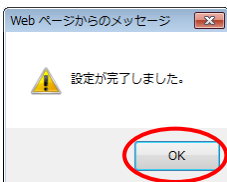
12 「TTL設定」をクリックします。



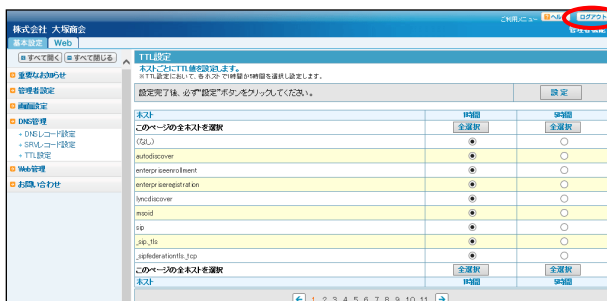
13 手順4、9(※)で追加したホストすべてに対して、「1時間」を選択し、「設定」ボタンをクリックします。

! 手順9(※)で追加したSRVレコードのホストは「サービス.プロトコル」で表示されます。
(例) _sip_tls、_sipfederatnls_tcp

※手順9はSkype for Businessをご契約のお客様のみが実施した作業です。



14 「OK」ボタンをクリックします。



15 「ログアウト」をクリックします。

ステップ5：設定を完了する

最後に、たよれーの Office 365画面で設定を完了します。

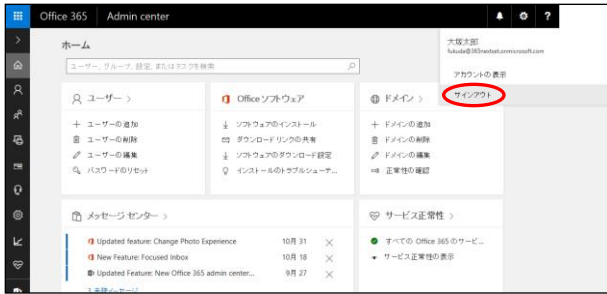


1 「ステップ3：レコードを発行する」手順7 (P.8) で残した画面に戻り、「DNSを確認」をクリックします。



2 エラーが発生しなければ設定は完了です。

「閉じる」をクリックします。



3 画面右上のアイコンをクリックし、「サインアウト」をクリックします。

たよれーる Office 365からサインアウトします。

4 以上で設定は完了です。

ドメインサービスの準備は完了しましたので、たよれーる Office 365の設定を行ってください。設定方法については、たよれーる Office 365会員サイトに掲載されたマニュアルをご参照ください。

! Exchange Online、Skype for Business側に設定が反映されるまでに、お時間のかかる場合があります。

Webサービスのご利用開始にあたって

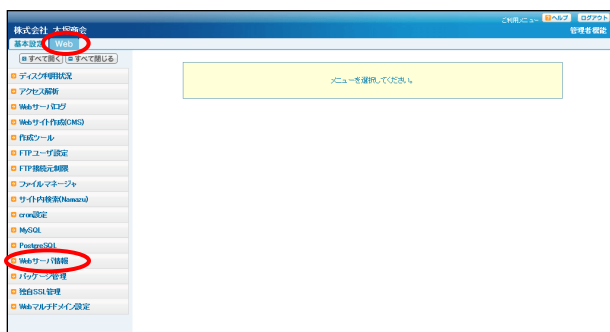
ドメインサービスのご契約ドメイン名で、ホームページを公開するための設定を行います。

！ メール設定のお願い

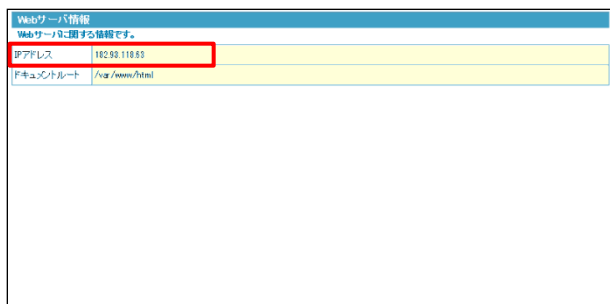
Webサービスでは、「postmaster@ドメインサービスのご契約ドメイン名」のメールアドレスにお客様への通知等のメールをお送りする場合がございます。Webサービスをご利用いただく前に、「postmaster@ドメインサービスのご契約ドメイン名」でメールを受信できるように設定をお願いします。

設定方法については、たよれーる Office 365会員サイトに掲載されたマニュアルをご参照ください。

■ ステップ1：IPアドレスを確認する



- 1 管理者機能ページを表示し「Web」タブをクリックし、「Webサーバ情報」をクリックします。



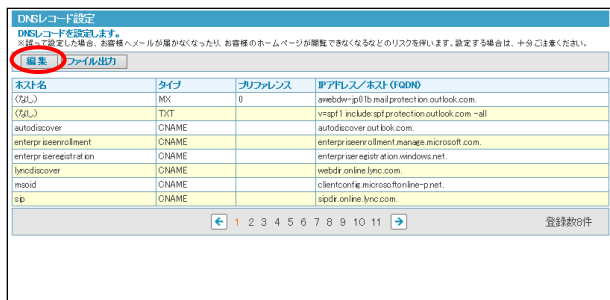
- 2 IPアドレスの情報を確認します。

！ 画面に表示された情報は、DNSレコードの設定に必要な情報です。必ず記録しておいてください。

■ ステップ2：DNSレコードを追加する



- 1 管理者機能ページを表示し「基本設定」タブをクリックし、「DNS管理」→「DNSレコード設定」をクリックします。



- 2 「編集」をクリックします。

